



2022年12月5日

株式会社 阿波銀行

有限会社井内開発の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社井内開発（代表取締役 井内 孝明、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社井内開発
所在地	徳島県徳島市国府町芝原字西澤 119 番地 1
代表者	井内 孝明
業種	一般廃棄物処理業
設立	1992 年 1 月 6 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年12月5日



有限会社井内開発 代表取締役 井内 孝明

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境	地域の水質環境の向上	浄化槽を常にクリーンに保ち、地域の人々が安心かつ快適に過ごすことができる環境づくりに努めます。	① (1)公益社団法人徳島県環境技術センターの浄化槽法定検査における水質適正率向上 (2)講習・研修を通じた社員の技術力向上	 4 質の高い教育をみんなに	 14 海の豊かさを守ろう
			② (1)2025年度までに水質適正率90% (2)毎年、全社員向け研修等実施	 6 安全な水とトイレを世界中に	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① 清掃車(低排出ガス車)の導入	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			② 2025年度までに1台導入	 13 気候変動に具体的な対策を	
社会	情報漏えいの防止	顧客情報保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① (1)顧客情報取り扱いに関する社内マニュアルを制定 (2)パソコンや記録メディアの取扱ルールの制定	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
			② 2025年度までに制定し、全社員に配布	 16 平和と公正をすべての人に	
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① (1)残業時間の短縮 (2)有給取得率の向上	 3 すべての人に健康と福祉を	
			② (1)月平均残業労働時間、2時間以内 (2)年間有給休暇、最低5日間取得率100%	 8 働きがいも経済成長も	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。